

事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）																										
地区名	北浜第3地区																										
事業箇所	西尾市																										
事業のあらまし	<p>本地区は、西尾市の北東部に位置し、一級河川矢作川と矢作古川に囲まれた流域面積 387ha の農村地域で、地区内の排水は二級河川北浜川へ自然流下している。</p> <p>しかし、地区内開発による降雨流出量の増加により、地区の排水状況は著しく悪化しており、豪雨時にしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、排水機場と送水路を新設し、地区内の排水の一部を矢作古川へ排出することにより湛水被害を防止し、農業経営と県民生活の安定を図ることを目的として、平成6年度からたん水防除事業北浜第3地区を実施し、平成21年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>排水機場及び送水管を新設し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。 （基準雨量 300.2mm/3日、1/20年確率雨量）</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	26億円		■工事費 22億円、 ■用補費 1億円、 ■その他 3億円																								
事業期間	採択年度	平成6年度	着工年度	平成6年度	完成年度	平成21年度																					
事業内容	排水機場 1箇所 送水路工 L=1,661m																										
II 評価																											
① 事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>施設供用後からの5年間で、3日連続降雨量では平成21年5月5日～7日に最大196.5mm/3日の雨量を観測し、最大1時間降雨量では計画とほぼ同程度の69.0mm/hの雨量を平成24年9月11日に観測している。</p> <p>この間、農地や農業用施設、公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 （一色観測所降雨データ）</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>300.2mm</td> <td>196.5mm</td> <td>114.0mm</td> <td>187.0mm</td> <td>116.5mm</td> <td>162.5mm</td> </tr> <tr> <td>最大1時間降雨量</td> <td>68.5mm</td> <td>30.0mm</td> <td>53.0mm</td> <td>43.0mm</td> <td>69.0mm</td> <td>58.5mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>計画基準雨量以下であるが、最大1時間降雨量では計画とほぼ同程度の雨量に対して湛水被害が発生しておらず、本事業は、地域の農業経営の安定化に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	H21	H22	H23	H24	H25	最大3日連続降雨量	300.2mm	196.5mm	114.0mm	187.0mm	116.5mm	162.5mm	最大1時間降雨量	68.5mm	30.0mm	53.0mm	43.0mm	69.0mm	58.5mm
	区分	計画	H21	H22	H23	H24	H25																				
最大3日連続降雨量	300.2mm	196.5mm	114.0mm	187.0mm	116.5mm	162.5mm																					
最大1時間降雨量	68.5mm	30.0mm	53.0mm	43.0mm	69.0mm	58.5mm																					
2) 副次目標の達成状況	該当なし																										

② 事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

		前回評価時 (H15)	完了時 (H21)	実績 (H25)	備考
事業期間		H. 6~H. 19 (14 年間)	H. 6~H. 21 (16 年間)		
事業費 (億円)	工事費	22	22		
	用地補償費	2	1		
	その他	3	3		
	合計	27	26		
効果の 算定要因	流域面積	387ha	387ha	387ha	増減なし
	被害面積	125ha	125ha	125ha	増減なし
	農地面積	93ha	93ha	83ha	減 10ha
	宅地等面積	32ha	32ha	42ha	増 10ha

【事業期間に対する評価】

事業工期を平成 21 年度まで（2 カ年）延長したが、新たな施設の造成のため、期間延長による影響はなかった。

【事業費に対する評価】

補償費の精査により事業費が 1 億円減となっているが、概ね計画通りに完了できた。

【効果の算定要因に対する評価】

完了時と比較して、地目が変わっているが、流域面積及び被害面積の増減はない。排水機場及び送水路の新設により湛水被害が防止されており、効果については、概ね計画どおり発現していると評価できる。

③ 事業実施による環境の変化

本事業は、排水機場及び送水路を新設したものであるが、送水路は道路下に管を敷設し、また、工事施工にあたり低振動、低騒音の作業機械を使用するなど、周辺環境に配慮したため、マイナス影響はほとんどない。

Ⅲ 対応方針（案）

今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項はない。

Ⅳ 事業評価監視委員会の意見

北浜第 3 地区の対応方針（案）〔改善措置等の必要なし〕を了承する。

Ⅴ 対応方針

改善措置等の必要なし